



志位和夫 はたの君枝 さいとう和子 沼上とくみつ

発行 日本共産党国会議員団  
2020年11月 南関東ブロック事務所  
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16  
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

# 国会活動報告

## 学術会議任命拒否 政府答弁の矛盾噴出



志位和夫委員長は11月4日記者会見し、日本学術会議会員の任命拒否問題での菅首相の答弁について、「拒否の理由が崩れ、日本学術会議法への違反、憲法23条学問の自由への違反も明らかになった」と指摘。「首相は『(推薦拒否は)内閣法制局の了解を得た一貫した政府の立場』と繰り返したが、内閣法制局の了解は2年前だという答弁だった」「2年前にこっそり、国民にも国会にも、学術会議にも隠れてやった、法解釈改ざんだ」ときびしく批判しました。また、翌11月5日の記者会見で、4日衆院予算委員会質疑で、「形式的任命であり拒否しない」とした1983年当時の中曽根康弘首相らの答弁の法解釈を維持しているかどうか菅首相は答えられず、「矛盾が噴き出している」と述べました。

### 撤回は世論の包囲で

志位氏は11月4日、衆院予算委員会の質疑後に傍聴者と懇談しました。懇談で志位氏は、質疑で任命拒否の理由が成り立たなくなったことや、この問題が全国民へ影響することなどを明らかにしたと語りました。はたの君枝衆院議員、さいとう和子、沼上とくみつの両衆院南関東比例候補が参加しました。



## 農業・畜産支援して 党千葉県委が被災3市と懇談

党千葉県委員会は11月4日、昨秋の台風で被災した袖ヶ浦市、富津市、君津市と懇談しました。さいとう氏、葛原茂千葉12区予定候補、地元市議らが参加しました。

袖ヶ浦市では粕谷市長らが「業者の手が回らず、住宅の修繕率は30%だ。農家は約70%が修復し、離農者もいるが多くが再建している」と話しました。富津市では「非常電源の確保が課題だ。国保税減免、住宅関連給付金を来年度以降も延長できるよう財政支援を」と、述べました。君津市でも担当部長らが「農業、畜産の被害が大きく修繕完了はまだ50%。倒木を防ぐため森林整備促進のための支援増を」と要望しました。葛原氏は「今こそ災害対策が不可欠、自治体は努力をしている。国の支援強化を求めていく」と力をこめました。



市長と懇談する、(左から)葛原氏、さいとう氏は11月4日袖ヶ浦市

## 飛来情報拒否撤回 防衛省に抗議

防衛省が10月30日に神奈川県に「今後の米軍オスプレイの情報提供は困難」と通告したことをうけ、はたの氏、さいとう氏、沼上氏、佐野昭広衆院神奈川13区予定候補、君嶋ちか子県議、松本春夫男綾瀬市議、堀口香奈大和市議らは11月4日、岸防衛相あてに抗議の申し入れをしました。申し入れは、他の軍用機に比べてオスプレイの危険性が高いことを指摘し、飛来情報を提供しない措置撤回するよう求めています。



(左から)はたの氏、さいとう氏、沼上氏、佐野氏、君嶋ちか子県議、松本春夫綾瀬市議、堀口香奈大和市議=11月4日国会

防衛省担当者が「米軍側から、情報提供は困難と説明があった」と述べた事に対し、はたの氏らは「米側の一方的な運用変更をなぜ受け入れるのか、政府は国民の安全を守る立場で対応すべき」と強く求めました。

## 学費半額に 雇用を守れ 民青が国に支援要請

民青同盟中央委員会は11月5日、参院議員会館で、コロナ禍で深刻な生活実態にある青年・学生への公的支援の拡充を文科省と厚労省に求めました。文科省には、学費の半額引き下げ、後期学費の分納や減免などを要請しました。小山委員長は、全国32都道府県で行った学生向けの食料支援を1万人以上の学生が利用した事を説明。「学生の将来がかかった問題として取り組んでほしい」と強調しました。要請には、はたの氏が、厚労省要請には倉林明子参院議員が同席しました。



### 「東葛もってけ市」「袋いっぱい」学生が感謝

流山市の東武線運河駅自由通路で10月23日、学生を支援する「東葛もってけ市」(同実行委主催)が開催されました。近隣大学の学生らが会場設営中から並び始め、予定より早く開始。約170人が来場する盛況ぶりで、近隣の企業からの寄付の品なども、またたく間になくなりました。袋いっぱいに食材を詰めた学生が袋の画像を送って友だちを呼ぶ姿も。3年生の女性は「帰省してオンライン講義を受けていたが、対面講義が始まったので戻ってきた。新たなバイト先が見つからないのでありがたい」、男子学生は「バイト先の飲食店が倒産し収入が途絶えた」と話し、無料の食材を喜んでいました。

文科省に申し入れる、はたの氏(右から二人目)ら

## 建設計画の見直しを 中部横断道めぐり要請



山梨県中部横断自動車道の長坂(山梨県)～八千穂(長野県)間の整備計画に反対する「山梨県の八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」は11月2日、国交省関東地方整備局(さいたま市)に建設計画の見直しを要請しました。はたの氏、武田良介参院議員が同席しました。

同会は2012年に、八ヶ岳南麓地域を通る新ルート決定の過程でルート関係図の誤りを指摘し、

国交省に要請する、(左から)武田氏、はたの氏ら=11月2日さいたま市

新ルート対象地域の住民等には意見聴取も説明もないとして、文書の開示と委員会での再審議を求めました。整備局の担当者は「適切な審議で決定した。文書は残っていない」と答えました。

武田氏は「新ルートで影響を受ける住民が経過を理解できなければ、住民合意という計画段階評価の趣旨からずれている。関係者のヒアリングも行い、経過を明らかにしたい」と話しました。

同会はまた、山梨県が環境影響評価の手続きを進めていることに正当性、妥当性がないと指摘しました。佐々木代表は「これまで指摘している問題点は解決していない。今すぐ環境評価の手続き、現地調査実施を取りやめ、建設計画の見直しを求めると語りました。

## 在沖米陸軍が厚木で単独訓練 陸揚げ当日に通知

10月26日から11月5日まで、沖縄県嘉手納基地所属の米陸軍パトリオット(迎撃ミサイル)部隊が、米海軍厚木基地で訓練する問題で11月5日、はたの氏、佐野氏、大山奈々子県議、高久良美大和市議、松本春男綾瀬市議、守谷浩一座間市議と、平和委員会の代表者らが防衛省に聞き取りました。同じ期間に国内各地の基地や近海で「日米共同統合演習」が行われますが、米陸軍パトリオット部隊の訓練は米軍が単独で実施するとしています。同訓練は弾道ミサイル等からの防衛をシミュレーションするもので、訓練規模は車両約20両です。同訓練に使用する車両や物資が10月21日に横浜ノース・ドックから陸揚げされ、22日に厚木基地に配置されました。



(前列右から)高久良美大和市議、佐野氏、はたの氏、大山奈々子県議、松本春男綾瀬市議、(2列目左から二人目)守谷浩一座間市議ら=11月5日国会

はたの氏らは、訓練物資が陸揚げされた当日の21日に、突如訓練実施について防衛省から関係自治体へ通知されたことを批判。「通知が遅れたのは大問題だ。国民の安全確保や日本の主権の観点からも許されない」と強く抗議しました。防衛省担当者は「米側から21日に知らされた。分かり次第、通知する」と述べました。